

北海道NPO情報



NPO推進北海道会議

北海道NPOサポートセンター

発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円

【9月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを強化しよう! 【2004年9月発行】

もくじ	ページ
札幌地域会計支援業務/コミュサポ事業	2
NPO研修日誌/認証数/札通はこび愛	3
NPOバンクサポーター便り Vol.11	4~7
えぬびおん/福祉職場ガイダンス	7
NPOサポート事業のご案内	8
Lプラザの運営と予算について考える	9
NPOな・・・(書籍紹介)	10
情報BOX(イベント案内)	11
助成金情報	12



NPO会計講座 短期基礎コースのご案内

今年度、3回目の会計講座のご案内です。
簿記の基礎から学びます。

日常会計の処理方法、会計ソフトを使った入力の仕事
帳簿、財務諸表の読み方 決算書(収支計算書
貸借対照表 財産目録)作成など。

これから法人会計をスタートする団体あるいは
今、会計事務を担当していて、困っている方など
ぜひ、この機会をご利用下さい。

9月21日, 28日, 10月5日, 12日

午後6時~8時(毎週火曜日 全4回)

会場 北海道NPOサポートセンター研修室
札幌市中央区北5条西6丁目札通ビル8F

講師: 小沼千佳子

(北海道NPOサポートセンター会計担当)

定員: 10名程度 受講料: 8,000円(初回納入)

申込み: FAX 011-281-8807

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

FAXかEメールで 団体名・参加者名・連絡先
電話番号・使用している会計ソフト名(すでに会計に携わ
っている場合のみ)を記入のうえ、上記番号、アドレスへ
送信下さい。締切り: 9月14日(火)午後5時必着
問合せ: 電話 011-271-5208(山本)

NPOの学校祭、翌日は に参加しましょう!

環境NGOと市民のつどいin札幌
エコトークしましょ!

日時: 2004年10月24日(日) 13:00~17:00

東北・北海道の環境NGOが集まります。
パネルディスカッション「環境NGOが市民と拓く未来の扉」や
環境NGOの活動報告あり。大いに語り合しましょう。
参加費無料。会場は旧豊水小学校体育館(NPOの学校祭と同じ)
主催: 独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金部
お問合せ先: NPO法人北海道NPOサポートセンター

予告 市民活動全道フォーラム ~ NPOの学校祭 ~

今年で4回目となる市民活動全道フォーラム、今回は
空き校舎となった旧豊水小学校の体育館で行います。
NPO・NGOが学校に集いお祭りをするということで「NPOの学校祭」とし、
全校集会は「黒松内ぶなの森自然学校」(NPO法人ねおす、黒松内町、
(社)日本環境教育フォーラム、環境省の支援により誕生)の高木校長による講演、
クラス発表ではNPO・NGOが日ごろの活動を発表します。

一歩すすんだNPOの活動ぜひ見に来てください。
タイトル 「NPOの学校祭」

~市民活動全道フォーラム2004~

日時 10月23日(土) 11:00~17:00

会場 旧豊水(ほうすい)小学校体育館

札幌市中央区南8条西2丁目5

(地下鉄東豊線「豊水すすきの」徒歩5分)

入場料 無料

- ・全校集会
- 講演 「ねおす的NPO経営談義」(仮題)
高木晴光(NPO法人ねおす代表
・黒松内ぶなの森自然学校校長)
- ・クラス発表 NPO・NGOブース
- ・フィナーレ みんなで飛ばそう! 紙ひこうき 飯島実
(NPO法人伝成館まちづくり協議会)

主催 NPO法人北海道NPOサポートセンター
北海道立市民活動促進センター

問合せ先 北海道NPOサポートセンター(北村)
札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F

TEL: 011-204-6523

FAX: 011-261-6524

E-mail: npo@mb.infosnow.ne.jp

「NPOを立ち上げてみたけど、経理の仕方が分からない??」
 「会計ソフトを買ってみたけど、使い方が分からない??」
 「ガソリン代を払ったけど、仕訳はどーするの??」…etc.

会計支援ヘルパーにお任せください!!

会計支援ヘルパー派遣のお知らせ

みなさんの団体では、経理や会計業務をきちんと行っていますか?。日々の活動に追われているNPOの皆さんにとって、煩雑な経理や会計業務はどうしても二の次になりがちです。さらに、暇を見つけて帳簿をつけようとすると、あれもこれも分からないことばかり???

これらの疑問を解決するのが、サポセンの会計支援ヘルパーです。会計支援ヘルパーは、一般企業の経理経験者で構成され、NPO独特の会計についても研修を受けています。会計処理について初心者という会計担当者はもちろん、レベルアップを図りたい方も会計支援に応募してはいかがでしょうか。

サポセンでは、**無料**でみなさんの団体に会計支援ヘルパーを派遣します。会計支援ヘルパーは10回程度、団体の事務所を訪問し、経理の基礎、会計ソフトの使い方、決算書類の作成方法等について指導します。

現在第一期の支援が始まっています。第二期は10月18日から12月24日まで(12団体募集予定)。第二期の応募締切日は**10月8日**です!。お早めに申し込みください。

気軽にお問い合わせください

お申込み・お問合せ / 北海道NPOサポートセンター (担当: 松本, 本田)

TEL 011-271-5208 FAX 011-281-8807 Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

その他 / 運営状況や面談の内容によっては、支援できかねる場合があります。

また、応募者多数の場合、ご希望に添えかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



札幌広域圏組合(札幌市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村・厚田村・浜益村)地域コミュニティ活動支援事業参加団体募集中!
 地域で活動するボランティア、市民活動グループ、NPOなどの皆さん、自分たちの活動をホームページで紹介してみませんか?「でも、詳しい知識がないからなあ・・・」

そんな心配はいりません。札幌広域圏組合の「コミュサポ」が、皆さんのホーム

専門知識は不要です。インターネットに接続するパソコンとワープロを打てる程度の技量があれば、簡単にホームページを作成できます。

更新作業がラクラク&カンタン初心者OK! ホームページの管理用画面から必要な項目を入力し、送信するだけで、すぐに情報を更新できます。

多彩なメニュー 写真集、カレンダー、電子掲示板、リンク集、メンバーへの一斉メール配信など、市民活動団体が頻繁に使う便利なメニューをホームページ上で利用できます。

さらに! **利用料無料**お助け隊のサポート付きサービスの利用料は**無料**。

IT系市民活動団体メンバーによる地域サポーターがシステムの操作方法や、活用方法をわかりやすくお教えします。

詳しくは、北海道NPOサポートセンターにお問い合わせください。電話: 011-204-6523

メール: npo@mb.infosnow.ne.jp (担当: 畑)

障害者のITを活用した就労にご協力をお願いします!

札幌チャレンジドは、企業との協働により“SnowmanBB 札幌チャレ設定コース”というインターネット無料設定サービスを始めました。障害のある人が仕事としてお客さまを訪問してインターネットの各種設定を行います。

NPO法人札幌チャレンジド

ぜひ札幌チャレまでお問い合わせください!

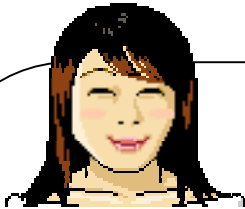
<http://www.npohokkaido.jp/challenged/>

**SnowmanBB 札幌チャレ設定
コース サービス開始!**

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌通ビル8F

TEL.011-261-0074 FAX.011-219-1811

メール challenged@npohokkaido.jp



NPO研修日記

2004年度 その5

濱市朝子

大通公園美術館

大通公園恒例のピアガーデンが終わった途端、秋の気配が待ちかねていたかのように漂ってきました。

サポセンでは自転車をよく利用します。時折、外勤で大通公園の中を通ることがあります。私のお気に入りのコースなのですが、公園の中を駆け抜け、街なかを走り抜けるのは気分転換も兼ね爽快のひとつにつきます。風にそよぐ緑の木立や草花、近寄るとなにかしら畏敬の念を抱かせるケヤキの大木。イサム・ノグチ、佐藤忠良といった著名な芸術家の彫刻作品も点在するなど、大通公園はあたかも大庭園美術館の趣きがあり、私の大好きなヒーリング・スポットでもあるのです。

公園を挟んだ南北の通りはビルが連なり一見して無機質な印象ですが、よく眺めてみると人目を引くショーウィンドウ、ビルの前に作られた不思議なエントランス、などなど思いがけぬ出会いや発見があります。自転車の速さで見る町並みはいつも新鮮な発見の連続で、自動車の速さでは見えない、感じられない町の景観や季節の移ろいを肌で感じることができます。

同じ視線で仕事を振り返ってみたのですが、合理性、効率を追求した結果で上がったものに較べて、いわゆるスローライフ的な視点から作り出されたものが劣っているのだろうか、ふとそんな思いが頭をかすめました。日頃、時代の要請や変化に振り回されている小さな存在の私なのですが、時には勇気を出して立ち止まり、足元を見詰め直すことも大切のように思えてなりません。そこから既成の概念にとらわれない、あらたな展望と地平が現れるような気がするのです。

雪がちらつく季節まで環境問題にもほんの少しだけ貢献し、そこかしこに放置されている自転車にも思いをはせながら、今日も自転車で出かけます。

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 7/31現在（内閣府のホームページ）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	19501	17853	90	225
道内の申請受理数 7/31現在（北海道）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	712	665	0	7

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

十勝地区NPO法人連絡会開催のお知らせ

十勝地区のNPO法人のみなさん。十勝には46のNPO法人があります。相互の顔合わせ、公益法人改革問題や、認定NPO法人制度、助成金や融資の仕組みなどを含めNPO関連の情報交換の場をつくりました。ぜひご参加ください。

とき：9月10日（金）午後2時～4時（予定） ところ：十勝プラザ講習室402

問い合わせ/参加申し込み 北海道NPOサポートセンター 電話011-204-6523（担当小林）

引越し・旅行・車検のことなら…「札幌」はこび愛ネット”をご利用ください！

ご存知かもしれませんが、飛んでけ！車いすの会をはじめ札幌チャレンジなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して！」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。どうやって利用するの？申し込みはとても簡単。下記の「はこび愛ネット」推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行（札幌トラベル）、車検・自動車修理（札幌自工）と文房具（札幌商事）などの購入です（一部対象外あり）。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札幌「はこび愛ネット」推進事務局

TEL(011)251-4111内線250番(担当:佐藤さん) FAX(011)231-7063



NPOバンク 誌々々

2004年8月
Vol.11

- 市民がつくる「銀行」 -

第1回 NPOバンク フォーラム

開催報告

ボランティア・ファイナンスの可能性について熱い議論が展開！

国内初のNPO法人によるNPO向け融資を行う北海道NPOバンクは2002年8月に設立されてから、2年が経ちました。2004年7月末現在での出資額は約4,300万円を超え、福祉、環境、社会教育、など幅広い分野で活躍するNPOなどに対して、資金融資を通して、経営基盤及び事業遂行力の強化に向けて支援して参りました。

この間、全国各地でも「市民系バンク」設立の動きが見られ、市民が作る市民のための「銀行」は広がりを見せています。このほど、北海道NPOバンクの取り組みを広く紹介し、他都府県における市民系バンクの創出や、ネットワークづくりを目指して、7月16、17日の2日間にわたりフォーラムを開催いたしました。北海道クリスチャンセンターで行われたフォーラムでは、「NPOと資金調達」と題して、NPOを取り巻く資金調達の現状と先駆的な取り組みについて、北海道グリーンファンド理事長の杉山さかゑさんに御講演いただきました。

続くパネルディスカッションでは、田尻佳史さん(日本NPOセンター理事兼事務局長)、田中優さん(未来バンク事業組合理事長)、山口郁子さん(中央労働金庫営業推進部次長)、向田映子さん(女性・市民信用組合(WCC)設立準備会代表)をパネリストに招き、「ボランティア・ファイナンスの可能性」について熱い議論が交わされました。



躍進する市民銀行をめざしてー第1回バンクフォーラム総括ー

北海道NPOバンク理事長 杉岡直人

全国に次々と立ち上がる市民バンクがさらに大きな波となって市民事業を後押しするために、今回のバンクフォーラムがセットされたといつてよい。バンク事業が軌道に乗るまでには何が必要なのか、NPOや市民はどうかかわることになるのか、行政はどのような役割を想定することになるのか、金融機関はどのような対応を進めようとしているのかといったすぐ手に入れたい情報は、適切な話題提供者によって、その活用のヒントが与えられる。

北海道NPOバンクが主催となって企画したのは、全国に先駆けてNPO対象の資金支援を取り組んできた自負にもとづき、日本中に市民バンク運動を拡大させるチャンスを活かしてイベントを仕掛けるという意図にあった。幸いにも市民金融の先達者として知られる代表的な事業体から報告者を迎えることができた。市民がやる意義を見いだしたものをすかさず応援する。しかも応援したい相手は自分たちの責任で選ぶ、選ばなくてはならないことの基本原則が参加者にピンときたと思う。市民と市民の真剣勝負に必要なのは、意欲と綿密な企画が同時に用意されていなくてはならない。

未来バンクの田中理事長は、市民金融の過激派的存在であるがユーモアあり、話術も巧みでお金の意味についても参加者に鋭く問題提起をして頂いた。WCC(女性市民バンク)代表で信用組合設立をめざす向田さんは、目的も明解、主張も明解な戦闘家(金融庁とまともにやりあうという意味で)であり、頼りになる市民銀行のモデルのような取り組みを示して頂いた。労金の山口さんも檄を飛ばし、日本NPOセンターの田尻さんも市民銀行のありかたに示唆的なアドバイスを提供してくれた。



市民銀行の本質は、お金を市民に取り返す、市民が活用できる資金を市民が応援するという仕組みを作り出すことになる点にあり、まさにローカルガバナンス（地域の自主統治）が具現化される道を拓いていくというメッセージを会場の参加者に共有されるウェブを感じたフォーラムであった。主催者として次回のフォーラムに参加者の誰かが手を挙げることを確信した2日間であった。

分科会

7月17日には札幌エルプラザで5つのテーマに分かれての分科会が行われました。

分科会1 「北海道NPOバンク設立の経緯について」

分科会1は北海道NPOバンクの設立時に実際に関わった行政、NPOの関係者を交えてのセッションが行われました。北海道NPOバンクが始動するまでには、資金面でNPO団体等をサポートする組織の必要性について、関係者の共通した思いがあり、それが3ヶ月という凄まじいスピードで立ち上げる原動力になったことが、当時設立に携わった関係者から報告がありました。そして、立ち上げまでには様々なスキームを各種検討し、融資の審査の方法など細部に渡って関係者で協議したうえで、現在の体制にたどり着いたいきさを説明しました。昨今NPO向けに融資を行う金融機関も出てきており、今後はいかに「棲み分け」ができるか、北海道NPOバンクが「北海道モデル」となるべく様々なアプローチをしながらPRしていくことも必要なのでは、といった意見が出されました。（佐藤隆）

分科会2 「NPOバンクの運営」

バンクフォーラム分科会2「NPOバンクの運営」は、集まったのは、やる気のあるメンバー11人で、話題は一気に具体的な話し合いに入る。未来バンクは、最初どうだったのか。20人の出資で400万円（100万が3人）17人で100万円だった。現在は400人で1億3千万。田中理事長曰く、無理せず始めて10年かけてブランド力がつくという姿勢が大事であり、やりたいことをやるという主義主張を明確にしている。例えば、借ることがプライドとなり、借り手が自分で宣伝しているという現象が生じている。環境問題、市民事業、福祉に関する取り組みに融資をおこなう。肝心なことは、専従をおかず、おかないでやれる範囲で事業をおさえる。理由は、融資で収益を上げる目的はもたないから。貸し付けは、貸し付けは出資総額の1/10という考えに立ち、必要額（申請額の評価）の50%を融資する。収益率が3%しかなければ、利息3%を支払うと相殺されるので、採算がとれるかどうかを重視して無理に貸さない。NPOバンクの基本方針として考えなくてはならないのは、少額の出資者を多く確保して定期的追加出資を募る方が確実に資金力と信用力を高めることにつながる。



話題は、NPOバンクの運営を守る話にまで発展し、中間法人を活用する裏技を田中理事長に解説してもらい、最後には、貧困層を対象にした世界初の少額無担保融資の実践をしているムハマドユヌス氏のグラミン銀行が、マイクロファイナンスのサラ金化現象を引き起こし、借金を抱え込む傾向が生じていることにも注目しなくてはならないというグローバルな視点でのNPOバンクの運営論議に発展した。メンバーの中には、WCSの関係者やマイクロクレジットの研究をしている者あり、金融を専門にする大学関係者あり、NPOバンクを旗揚げする予定者ありで、突っ込んだ議論に2時間が飛ぶように過ぎていった。（杉岡直人）

分科会3 「融資審査と融資後のフォローアップについて」

この分科会では、前半においてコーディネーターの畑山審査委員による融資審査の現状と問題点について概括的な報告とパネリストの上野審査委員長による審査体制と業務内容についての詳細な説明が行われた。

小休止後のプレゼンターの安田審査委員による金融機関の立場からの融資審査に関する問題提起とパネリストの佐藤審査委員による書面審査の限界等についての所感の披露に続く質疑応答では、融資判定表の作成の経緯と質的側面の点数化の困難性、審査委員の選ばれ方と融資を受けた団体が審査委員になることのメリットと秘守義務の問題、数字だけによる審査の限界と信頼関係に基づく返済能力の評価、遅延管理などフォローアップと事務体制、といった論点を取り上げられたが、参加者の共通の主たる関心は、NPOバンクに相応しい融資審査のあり方に向けられた。NPOの発展により積極的に貢献し得る融資審査は如何にあるべきか、という基本的課題が再確認されたものといえる。（畑山紀）

分科会4 「借り手から見た理想のNPOバンク」

分科会4は、北海道NPOバンクが設立されてから2年経ち、その活動の成果と課題を探り、活動を充実するために、借り手側から北海道NPOバンクを評価してもらう趣旨で開催された。北海道NPOバンクはNPO金融の最後の貸し手として非常にありがたい存在という、借り入れ実績のある3団体の話から始まった。しかしながら、年4回の融資受け付け、札幌での審査面接、200万円という融資金額の上限、最長1年間の返済期限、など、特に資金需要の大きい事業型NPOの借り手側から、現行の融資体制の課題を指摘された。貸し出し資産や運営体制が不十分であり、融資金額が大きく、長期借り入れはNPOバンクでは対応しにくいので、労金や信金など地域の金融機関がNPOへの融資に取り組んで欲しい

と、コーディネーターから話題を振ったところ、労金としては積極的にNPOへの融資を進めているという言葉を出席者からいただいた。今後は、地域全体でNPOへの金融システムを確立しなくてはならないこと。そして、NPOへの地域金融システムが確立された後の北海道NPOバンクの役割としては、借りたいときに簡単に借りられる、小回りのきく短期小口資金の融資サービスを拡充すべきではないか、という結論で分科会4は締めくくられた。(河西邦人)

分科会5 「拡がる市民金融」

分科会5はセクターを越えて拡がる市民金融を考えるセッションでした。フロアからご発言いただいた参加者のみなさんのご所属も、企業・行政・NPO...とさまざま、時間があっという間に過ぎ去ったような気がします。

コーディネーターとして印象に残る論点のひとつは、市民ベースの「銀行」の情報開示のことでした。「誰が、どんな目的で、いくら借りているか」情報を、氏名を含めてインターネット等でどんどん情報公開することで、制度の透明性を高めることができる。また、そのことが出資者の思いがどんなかたちで実を結んでいるか知らしめることになり、お金の好循環を生む、という意見が一方でありました。そもそもお金のやりとり自体がセンシティブな情報である。ましてや、いわば「顔の見える」関係である市民間での金融は自ずと情報の扱いに注意を払わざるを得ない、という意見が他方にありました。

また、お金を「貸す」システムと平行的に、お金を「あげる」しくみ、すなわち助成金や補助金の制度が社会のなかで重層的に拡がっていくべき、との思いを強くしました。(樽見弘紀)

フォーラムに参加して

フォーラムに参加した方から、感想をお寄せいただきました。

吉田 敏秀 (大学院生)

NPOバンクについては、その存在は知っていたものの、具体的な活動内容やその仕組みについては、今回のフォーラムに参加し初めて知ることができました。また、全国大会だとは知らずに参加しましたが、パネリストの方の事務所の所在を知り、「バンク」の活動が全国的に広がりを見せ、また、NPOだけではなく、中央労働金庫のような金融機関でも取り組まれているという点や、その仕組みを上手く応用して、風力発電の風車が立ってしまうという、「イチNPO」の活動力というような点で、これからの可能性を感じる事ができました。様々なお話の中で、例えば、自分が金融機関に預けたお金がどの様に使われているのかわからなく、それなら、ある特定の目的の為に使って欲しいと「信託」するようなお金の預け方が必要であるのではないかと。というような事が言われていましたが、まさに必要な「市民の意識」なのではないかと思いました。しかし、それがすぐにNPOバンクに出資する事につながるかというと、そうではないと思いました。今、なぜ自分が銀行に預けているのかと考えると、第一は、いつでも引き出せるという利便性なのではないかと思いました。そういった意味で、生活に直結したシステムになるには難しく、なかなか一般に浸透するのは難しいと思いました。



しかし、それは「NPOバンク」というネーミングから、既存の銀行などの金融機関と比べてしまう事がそもそも間違いなのではないのかな、とも考えられるのではないかと思いました。NPOバンクに預ける場合、預金というよりは、「出資」・「投資」・「寄付」といったような側面が強いのではというイメージがあります。そもそも「バンク」は、お金を預けてそれを増やす事が目的ではなく(現在の銀行ではそれほど増えませんが)、その預けたお金を利用した、社会での活動によって、なんらかの利益を期待するものだとして理解しています。「バンク」にとっての競争相手は既存の金融機関ですが、市民にとって「バンク」と金融機関は、どちらに預けようかと選択する際に、預ける目的がちがうのですから同列に並ぶものではないように思いました。

NPOが活動していくうえでの金銭的な側面を支える、制度・システムというのはまだまだ乏しいのが現実です。寄付に税をかけなかったり、寄付した分、国に払う税を控除したりといった、その側面でのシステムが成り立つと、NPOの活動も盛んになるとは思いますが、成立したとしてもまだまだ先の事になる事だと思います。そのような意味で、現在の「バンク」の役割は大きなものだと感じました。

長谷川 武史 (大学院生)

今回フォーラムに参加して、全国的にNPOバンクの活動が広まりつつあることを、初めて知った。2日間参加させていただき、疑問に感じたことがいくつか出た。まず、北海道NPOバンクの活動の紹介の中で、融資を受けるNPO団体に対して、返済計画の指導を行っていたという説明があった。福祉活動目的のNPOでは、福祉現場の人が当事者であり、経理などの財政上能力が低いことが多いと思う。そのような団体を支援し、NPO全体の質の向上をNPOバンクが担っていく道もあるのではないかと感じた。ただ資金を提供する立場にあるバンクが、NPOを指導するという形に制度上の不安を感じる。次に、NPOバンクとしての資金確保の困難さを感じた。日本の風土として、資金提供を寄付という形で行っていくことに限界があるのではないかと考えた。私的な経験だが、私は学部時代、YOSAKIソーラン祭りの学生実行委員会に所属し、活動していた。学生はボランティアとして、大通り公園のステージを自ら集めた資金により独自に運営していた。資金は札幌市内の企業へ、協賛という形で集めたが、その見返りとして毎年発行している、ガイドブックへの広告掲載と、お祭り会場で配布するウチワに企業名を掲載するという形をとっていた。学生実行委員会の上部組織である、祭り全体を組織する場所では、ロゴを作成し、それを協賛してもらった企業へ使用許可を出し、CM等への使用をおこなってもらうという形をとっていた。

NPOバンクの現在の状況では、出資者への返金は困難なものがあると思う。今後も継続的にバンク自体の資金を確保するには、広告掲載やロゴの提供による広報活動による協賛というかたちで行っていくのもひとつの可能性として現実的ではないだろうか。

またNPO全体について言えることであると思うが、寄付という行為が日本では一般的ではなく、資金確保が今後の大きな課題といえる。イギリスなどでは、NPO全体の活動費のうち寄付によるところが大きな割合を占めていると聞いた。二日目の分科会の話の中で、遺贈の話が出ていた。現在は、国税庁が認定したNPOへの寄付にのみ、寄付した個人や団体への税制控除がされているが、その認定NPOの数は少なく、NPO全体の資金確保には役立っていない。制度の改正を行うことによって、富裕層だけではなく中流層からの寄付も増えてくるのではないだろうか。

実行委員会事務局から

フォーラムには当初の予想をはるかに上回る大勢の方に御参加いただきました。また、準備にあたっては、ボランティアをはじめとする沢山の方々、団体にご協力いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

北海道NPOバンク第7回融資決定

第7回の融資審査が終了し、1団体のNPO法人に150万円の融資が決定しました。

2004 NPOバンク融資申込みのお知らせ

第9回融資 申込期間 10月20日～11月7日 / 融資実行12月中旬
第10回融資 申込開始1月19日～2月3日 / 融資実行3月中旬

NPOバンク活動報告

8月14日(土)に石狩湾新港で開催された、RIGING SUN ROCK FESTIVAL2004 in EZO(ライジングサンロックフェスティバル)内のECO-ROCK FIELD内ステージで、北海道NPOバンクの活動を紹介しました。

お知らせ

サポート便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います。また、NPOバンク事業組合にご加入の方で、住所等に変更があった場合はお手数ですが事務局まで御連絡ください。

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内
TEL:011-204-6523 / FAX:011-261-6524
npobank@npo-hokkaido.org http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm

[えぬぴおん第11号](8月25日発行) NODE編集委員会発行 800円

フロント対談 高橋はるみ知事～道州制を語る NPOへ、えぬぴおんへ 読者のみなさまへメッセージ
最後にこれだけはいわせてくれ! 編集員の本音 寄稿してくれた皆さんの声 未来の種に会いに。
さよならはいわない。新しき旅立ちへ 市民活動のススメ 現場百景 ひがし大雪アーチ橋/霧多布湿原/サッカー
支援費制度について 二通諭さん 海外食事情 飛びまわれ車いす 野生生物最前線
コミュニティビジネスの可能性 東京コミレス探検 会計講座 道内サポセン情報

NPO法人があなたの職場になります! 「福祉・医療職場ガイダンス」のご案内

日時 9月28日(火) 11:00～16:00

場所 北海道厚生年金会館 3階

道社協北海道福祉人材センター、北海道看護協会北海道ナースセンター北海道雇用開発協会、雇用・能力開発機構北海道センター、北海道及び北海道労働局などの主催で表記ガイダンスが行われます。いわゆる福祉・医療関係の就職説明会です。NPOも9法人がブース出展致します。求職者と事業所のマッチングの好機になるよう期待しています。個別ブースのほか、介護NPOの事業所情報コーナー、『介護NPO連絡会』による就職相談コーナーを設置して求職者の対応をします。資格をお持ちの方は、当日厚生年金会館に集まりましょう!自分の求めるやりがいのある職場をぜひこの機会に見つけて下さい。

10月23日は、イベントが目白押し!

札幌では「つくるごみゼロ社会」道民交流会(「ちえりあ」など)アートNPO全国フォーラム(ICCなど)が開催されます。

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」紹介 04年度改訂版

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位：円，税込)

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	21,000~
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します。	1枚	210
印刷(予約制) 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります。 ご相談ください) A3まで印刷可、10枚以上~(両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000枚	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 片面初版代:315円、 両面初版代:525円が別途かかります。	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅42cm)に印刷します。	片面のみ	1,575~
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります。	5枚以上 1枚	4,515
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	63~
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、 提出までのサポートを行います。	介護保険 1事業所	10,500~
		支援費 1事業所	7,350~
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします。	1事業所	2,625~

2004.7.1改定

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバー等による相談を随時受け付けております。(※スタッフがご聞きし専門家にお伝えします)

法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります)

北海道NPOサポートセンター相談センター・研修室 / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, 011-281-5927 FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00~18:00(月~土)(日、祝日休み)

- すいすい読めてよくわかる - 『ぜ〜んぶまるごとNPO』2004年度版好評発売中

発行 NPO法人北海道NPOサポートセンター 定価400円(税込み)

これからNPO法人格取得を考えている方におすすめです。

(目次) 市民活動とは 法人格取得の申請手続き NPOと法制度の現状 会計、事業報告、税務について 資料編として、・特定非営利活動促進法(平成15年5月1日施行版)・特定非営利活動促進法施行規則(同)・特定非営利活動促進法施行条例・申請に必要な書類(ひな型)を掲載しています。

[問合せ]北海道NPOサポートセンターTEL:011-204-6523 E-mail:npo@mb.infosnow.ne.jp

札幌駅北口

「Lプラザの複合4施設の運営・予算について考える」

～Lプラザの複合4施設をもっと使い勝手良くするための処方箋～

エルプラザには、「男女共同参画センター」、「市民活動サポートセンター」、「環境プラザ」、「消費者センター」の4つの公共施設があります。

それらの公共施設を利用している市民の方で次のようなことを考えたことはありませんか？

「Lプラザ内の各公共施設の予算や運営費ってどうなっているの？」

「Lプラザ内の各公共施設の運営・管理ってどうなっているの？」

「Lプラザ内で市民と行政がもっと協働してできることもあるんじゃないの？」

「Lプラザ内の4施設の横の連携をもっとよくなり複合的に利用できればいいのに」などなど

今回、主に各施設を利用しているNPO関係者で、Lプラザ内の各公共施設の運営や予算について考え、みんなでLプラザ内の複合4施設をもっと使い勝手がよい施設にしていきたいと思います！！

日時：9月21日(火)18:30～20:30

会場：札幌市民会館3階6号会議室(札幌市中央区北1西1:241-9171)

参加費：無料 定員：60名(事前申込先着順で定員になり次第〆切ます)

主催：NPO法人エーピーアイ・ジャパン「市民による税制財政会議委員会」

共催：NPO法人NPO推進北海道会議/NPO法人北海道NPOサポートセンター

お問合せ・お申込先(参加希望者は事前に下記までお申してください。):

北海道NPOサポートセンター(担当:北村) 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F

TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524 E-mail:npo@mb.infosnow.ne.jp

「市民活動団体ビジネス化推進」のお手伝い

市民活動団体の事業化支援制度がスタートします。費用はかかりません！

～ビジネス化推進支援相談員が、きめ細かな相談に乗ります～

北海道NPOサポートセンターは、北海道経済産業局の「市民ベンチャー中間支援機能強化プログラム」として、道内各地域のNPO・市民活動団体の事業化を支援します。各地域の支援相談員が、ビジネス化推進委員会(委員長:河西邦人札幌学院大助教授)のアドバイスを受けながら、採択団体の直面するさまざまな問題を解決するための個別具体的な支援をします。

これから事業化する予定の団体、コミュニティ・ビジネスをはじめようと考えている方、ぜひこの機会にこの仕組みをご活用下さい。費用はかかりません。

応募期間 9月6日(月)午前10時17日(金)午後6時締め切り

応募方法 応募期間内に北海道NPOサポートセンターまで。電話、FAX、メールでご相談下さい。電話011-204-6523 FAX011-261-6524 npo@mb.infosnow.ne.jp

支援件数 札幌地域(概ね石狩・後志・空知管内)5団体、函館地域(概ね渡島管内)、苫小牧地域(概ね胆振・日高管内)、旭川地域(概ね上川管内)、帯広地域(十勝管内)、釧路地域(概ね釧路管内)、北見地域(網走管内)各1団体～2団体

採択方法 応募多数の場合、事業案件、地域などを勘案して選考させていただきます。

支援内容 支援相談員が、コミュニティ・ビジネス手法、事業計画づくり、資金調達、組織運営、マーケティング、法人登記、財務会計、労務管理等について個別アドバイスします。

(支援期間は10月から来年2月を予定しております)

市民活動団体ビジネス化推進団体

NPO推進道南会議(函館・道南圏)

苫小牧NPOセンター(胆振日高圏)

旭川NPOサポートセンター(道北圏)

北見NPOサポートセンター(オホーツク圏)

地域生活ネットワークサロン(釧路根室圏) 十勝シニアネット、帯広28NPOサポートセンター(十勝圏)、北海道介護NPO連絡会(全道、介護系) 北海道NPOサポートセンター(札幌・道央圏)

問い合わせ 北海道NPOサポートセンター 電話011-204-6523

FAX011-261-6524 メール npo@mb.infosnow.ne.jp(担当 小林)

書籍案内 岩波ブックレット

『NPO がわかる Q&A』

大阪ボランティア協会の事務局長 早瀬昇さんと、シーズの事務局長 松原明の共著です。

ますます身近になってきている NPO(非営利組織)なぜこのように必要とされているのか。法律はどうなっているのか。実際に始めたいときにはどうしたらいいのか。費用はどのくらいかかるのか。NPO が直面している課題は何か...。好評の『NPO はやわかり Q&A』の内容を改訂し、新データとともにまとめた必携書。

体裁：A5 判・並製・72 頁

価格：480 円

発売日：2004 年 3 月 5 日

出版：岩波書店

ISBN4-00-009318-5

ぜひお近くの書店でお求め下さい。



書籍案内

NPO全国フォーラム 2003 北海道会議 報告書

個を活かす社会へ ~真の民主主義をめざして~ と題し、NPO全国フォーラムが札幌コンベンションセンターで行われてから、まもなく1年が経とうとしています。大変お待たせいたしました...。報告書ができました。〔A4版 127ページ 1,260円(本体価格1,200円)〕豪華ゲストのみなさんによるオープニングフォーラムもばっちり掲載。読書の秋、感動の全国フォーラムをふり返ってみてはいかがでしょうか？

通信販売も致します。(送料3冊まで315円)

【主な内容】開催概要、参加状況、分科会報告(テーマ1 地域再生、テーマ2 地域連携、テーマ3 ミッションにこだわった事業、テーマ4 情報、テーマ5 人、テーマ6 資金)、連続講座(1 基礎編、2 協働編、3 政策編)、名簿

【お申込み・お問合せ】

団体名、連絡先、冊数をお書きの上、電話、FAX、Eメール、いずれかの方法でお申込みください。

お申込みお待ちしております！！

北海道NPOサポートセンター

TEL 011-271-5208

FAX 011-281-8807



NPOな...

書籍案内 未来のための「お金」のはなし

・お金と上手につきあおう - 金融と年金・人の行く裏に道あり 花の山 - 株の相場とは何か・預金だけに頼ると危ない - タンス預金から金融商品への投資へ・クレジットカードの賢い使い方 - 正しく使ってこそ価値がある・女性と年金・しっかり確認！自動車税の還付金他、5テーマコラム
・保険のことをよく知ろう - 生命保険と損害保険・生命保険に関する法律が変りました・保険に加入する前に知っておきたいポイント・自動車保険 - 選択のポイントは？・私的年金 - 損害保険会社VS生命保険会社
・家を建てる前に考えよう



・不動産と税金・不動産を売ると増税になる？ - 今年の不動産税制改正の留意点・一生に三度のマイホームはいかが？・不動産に関する豆知識他コラム絵手紙と泰子さんの送別会
・相続の準備をしておこう - 相続と遺言・相続、基本のきほん - 相続とは何か？・遺言による相続について...中谷 俊雄・相続開始から遺産分割まで・知って得する、賢い“贈与”とは - 相続時精算課税制度について...佐久間 正他コラムボランティアはタダでいいのか？

定価 1,365 円 [問合せ]北海道NPOサポートセンター

TEL:011-204-6523

E-mailnpo@mb.infosnow.ne.jp

書籍案内 げんばの知恵袋 価格：2,500円(税別) A4判：126ページ現場の知恵が

モリモリたくさん！！ 横浜市内のNPOから集めた、現場の知恵やノウハウをご紹介します。毎日の業務で「ヨソの団体ではどうしているのかしら？」と思ったら...「ウチにはない解決策」が欲しくなったら...料理のレシピのように開いて、自分に必要な情報をピックアップ！

ヘルパーの雇用

ヘルパーの育成

< 新任ヘルパー >

< 現任ヘルパー >

< サービス提供責任者

・管理者 >

事務局スタッフ

理事

組織運営

コミュニケーション

経営資源の調達

リスクマネジメント

管理業務 お役立ちリスト

事務所移転時の手続き、理事長交代時の手続き、神奈川県・横浜市(委託事業)実地指導の調査項目リスト

[問合せ]北海道NPOサポートセンター

TEL:011-204-6523

E-mailnpo@mb.infosnow.ne.jp



(申込みの際は、社会福祉協議会・学校・病院等の推薦を受けて下さい)

応募課題 特に在宅老人、障害児・者、児童問題等に対するボランティア活動 助成金 1件あたり：30万円を上限とする。総額 4,500万円

(別途、地震・風水害等災害支援時助成 500万円)

応募期間 平成16年8月1日～平成16年9月15日(当日消印有効)

助成対象期間 原則として平成17年1月～12月の活動に対して

応募方法 申込書請求 申込用紙は下記財団へ電話又はFAXにてご請求下さい。

助成金贈呈 平成17年1月より贈呈します。

報告書の提出 助成金受領1年以内に報告書を提出

申込書送付先 〒103-8219

東京都中央区日本橋茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル 財団法人 大和証券福祉財団

(TEL:03-3665-5147 FAX:03-3662-0495)

2. 第11回ボランティア活動等に関する調査研究助成要領 応募資格 特に問いませんが、研究委員会を組織して下さい。

応募課題 ボランティア活動・地域福祉に係る実践的モデル事業開発に関する研究等

助成金 1件あたり100万円を上限：3件

応募期間 平成16年8月1日～9月15日

申込みにあたって 特に重視するテーマ

ボランティア活動・地域福祉に係る実践的モデル事業開発に関する研究

但し、上記にかかわらず選考の結果、特に有用と認められた調査研究については対象とする場合もあります。

当該研究に関して以下のことを選考の条件とします。

研究委員会の組織

研究に当たっては研究委員会を組織して行う。

助成申込に際して上記委員会の主だった研究員を明示する。研究成果の発表

研究成果を日本地域福祉学会等の学会又は、社会福祉協議会活動全国会議において報告する。

独立行政法人 福祉医療機構

平成17年度助成事業の募集について

長寿・子育て・障害者基金では、長寿社会福祉基金、高齢者・障害者福祉基金、子育て支援基金及び障害者スポーツ支援基金の4つの基金を設け、その運用益を用いて、民間の創意工夫を活かした社会福祉を振興するための事業に対する支援を行なうことにより、高齢者や障害者の在宅福祉、生きがい・健康づくり、子育て支援、青少年の健全育成、障害者スポーツの振興等を推進していますが、平成16年9月1日から10月31日までの間、平成17年度助成事業の募集を行ないます。

<特別分>助成上限500万円

応募〆切 10月31日

重点助成分野

(1) 痴呆性高齢者を介護する家族の負担軽減に関する事業

(2) 障害者の自立生活・就労の支援に関する事業

(3) 子育て支援のネットワークづくりに関する事業

(4) 児童虐待に関する活動への支援強化事業

(5) 新しい障害者スポーツの啓発・普及事業

長寿社会福祉基金

高齢者・障害者福祉基金

子育て支援基金

障害者スポーツ支援基金

詳しくは、

〒105-8486 東京都虎ノ門4-3-13

秀和神谷町ビル9階 独立行政法人福祉医療機構基金事業部振興課 TEL03-3438-9946

FAX03-3438-0218

<http://www.wam.go.jp/wam/>

上記の他、<地方分>助成上限200万円もあります。

競輪及びオートレースの交付金による公益事業振興補助事業(平成17年度補助金交付要望受付)

一般事業

ア青少年、高齢者又は障害者を対象としたスポーツの振興のための事業

イスポーツ大会(全国的な規模の大会に限る)の開催事業

ウ自然環境の保護に関する調査研究又は啓発普及事業

エ生活習慣病、難病、脳障害又は特殊疾病の基礎的研究に係る機器の整備事業

オ文化の振興のための事業

カ青少年の健全育成のための社会教育活動に係る事業

キ青少年の健全育成のための社会教育施設の整備事業

ク自転車等の安全かつ適正な利用の推進又は自転車駐車場の整備事業

ケ交通安全対策又はこれに関する啓発普及事業

コ児童の事故防止に関する調査研究又は啓発普及事業

サ更生保護に係る事業

シ更生保護施設の整備事業

ス公益車両の整備事業

(ア) 検診車整備事業

(イ) 母子保健指導車整備事業

(ウ) 福祉車両整備事業

セアからシ以外の事業であって、目的及び実施計画が具体的であり、かつ、体育の振興、医療・公衆衛生の向上、文教、環境その他公益の増進に特に資すると日本自転車振興会または日本小型自動車振興会が認める事業

詳しくはホームページを参照してください。

<http://www.keirin.go.jp>

<ホームページをご覧になれない場合>

問い合わせ：日本自転車振興会公益事業部

〒107-8461

東京都港区赤坂1丁目9番15号(日本自転車会館4階) [公益事業課(社会福祉事業以外)]

電話03(3585)1854

[福祉事業課(社会福祉事業)]

電話03(3585)1869

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃 (北海道大学教授)

杉岡 直人 (北星学園大学教授)

杉山さかえ (北海道グリーンファンド理事長)

事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ

事務局長 小林 董信

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

URL <http://npo-hokkaido.org/>